

2011. 9. 22
建設通信

建築関連5団体が共同宣言

公共的価値一般に周知

まちづくりの理念共有

日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築家協会（JIA）、日本建設業連合会、日本建築学会の建築関連5団体は、建築・まちづくりで共有すべき理念や基本方針を共同宣言として発表した。写真、持続可能な社会に向けて専門家が果たすべき役割と責任を再確認す

るとともに、建築の公共的価値を市民や行政が認識する足がかりとする。東日本大震災を踏まえ災害時の連携を盛り込んだほか、25日に開幕するUIA2011東京大会にあわせて広く社会にアピールする。第2部・4面に全文

「建築・まちづくり宣言」は、安全・安心な生活、持続可能な社会、豊かな文化の3つの環境づくりを基本方針として掲げた。20日の会見で、藤本昌也土



挑戦する覚悟で表明した」と説明した。

宣言では、建築が公共の利益と密接に関係するものと

し、専門家が市民や行政と連携して公共的価値実現に貢献することを強調している。

芦原太郎JIA会長は「建築・まちづくりが一般の人にとってかわりが深く、公共的価値を高めるものだということをお分かってもらいたい。その先にある建築基本法や建築生産、社会システムにどのようにかかわっていくか、宣言をはじめの一步として、建築団体が手を携えて立ち向かっていきたい」と決意を述べた。

三栖邦博日事連会長は「建築にかかわる全員が建築の公共的価値を認識しなければ、美しい国は実現できない。UIA大会はそのことを国民が

認識する機会になることを望んでいる」と、建築界を挙げたイベントに期待を込めた。

大久保和夫日建連専務理事は「従来から緊密な連絡のもと議論を進めてきた。5会のコンセンサスを発表できたことは意味がある」と述べ、森暢郎建築学会副会長は「海外に発信できること、実務家が軸となって積極的に発信できたことは大きい」と連携に取り組む姿勢をみせた。

UIA大会では、JIA宣言、UIA宣言の発表が予定されている。芦原UIA会長は「3つの宣言の根は一つ。持続可能な社会づくりへ、同じ思いを持って取り組む」と意欲をみせた。